

挑戦と共創によるまちづくり

静岡県御前崎市

企業版ふるさと納税のご案内

2026
年度版



静岡県御前崎市は、静岡県中西部の南端部に位置し、牧之原台地が遠州灘と駿河湾に突き出した岬を有する、豊かな自然に恵まれた美しいまちです。令和8年3月に策定した第3次御前崎市総合計画では、将来都市像「安心と希望を未来へつなぐ 人が自然と共生するまち 御前崎」を掲げ、挑戦と共創によるまちづくりを目指しています。

そんな御前崎市のまちづくりへの取組にご賛同いただける企業の皆様からの寄附を募集しております。

是非、この機会にご検討をお願い申し上げます。

御前崎市長 下村 勝

お問い合わせ先

静岡県御前崎市 総務部 企画政策課

TEL. 0537-85-1161/FAX. 0537-85-1137

E-mail. kikaku@city.omaezaki.shizuoka.jp

What's Omaezaki City ?

静岡県御前崎市とは

静岡県最南端、風と海のまち「御前崎市」

- **位置** : 静岡県西部 … 静岡市と浜松市の中間
(北部) 牧之原台地から続く丘陵地帯
(南部) 御前埼灯台・遠州灘海岸の砂丘
- **人口** : 29,422人 (令和8年4月時点)
- **特徴** : 静岡県最南端に位置し、豊かな自然に恵まれた地域
海岸線と風力発電がシンボル
- **農業** : 温暖で豊かな日照時間を生かしたイチゴやトマト、
メロン、お茶などの生産が主力
- **漁業** : カツオの漁獲量が県内随一 (御前崎市の代名詞)
- **観光** : 御前埼灯台 (おまえさきとうだい)
浜岡砂丘 (はまおかさきゅう)



御前崎市が目指す将来都市像・プロジェクトの方針

御前崎市では、**将来都市像「安心と希望を未来へつなぐ 人が自然と共生するまち 御前崎」の実現**に向けて、特に注力して推進していく取組みを「重点プロジェクト」として位置づけ、分野横断的に庁内が連携し、多様な力とデジタル戦略で不確実な時代を切り拓きます。

企業版ふるさと納税では、重点プロジェクトをご支援いただける企業様を募集しています。

安心と希望を未来へつなぐ 人が自然と共生するまち 御前崎

挑戦・共創

重点プロジェクト (事業例: 次のページ以降を参照)

ひと
を育てる
プロジェクト

まち
を整える
プロジェクト

しごと
を創る
プロジェクト



Project ご支援いただきたい地方創生に向けたプロジェクト

第3次御前崎市総合計画 基本計画（第2章 重点プロジェクト）の基本目標ごとに、ご支援いただきたい取り組みの一部を紹介いたします。ぜひ市政へのご理解をいただき、寄附をいただけますと幸いです。本パンフレットに掲載している事業以外にも、企業の皆様と取り組める事業がたくさんあります。詳細は、御前崎市HPをご参照ください。御前崎市とともに、地方創生の実現に向け、ご協力をお願いします！



御前崎市HP



対象事業一覧

基本目標1 ひとを育てるプロジェクト

本プロジェクトは、人が育つまちとして、人口減少・人口流出に対し、教育・子育て環境など、若者の未来を支え、将来への可能性を感じられる「御前崎」を築く事業です。

- 英語・英会話教育の実施
- 起業・創業支援、経営指導など、チャレンジを応援する仕組みを構築
- 地域人材を生かしたキャリア教育の実施
- 情報発信の強化と相談体制の充実 等

青少年体験事業『御前崎クエスト』

ふるさとって、こんなに面白い！御前崎クエストで芽生える、誇りと貢献の心。

小学生から大人まで、地元の自然体験活動を通じて、豊かな郷土の魅力を再発見するとともに、生活や防災等で役に立つ実益的な知識やノウハウの習得を目指します。また、参加者同士のコミュニケーションを大切にし、年齢などの垣根を超えた交流や仲間、家族間での触れ合いの提供を行っています。ウェブツールが普及した現代だからこそ、地域資源による生きた体験を通し、郷土に誇りと愛着、地域への貢献意識を持つ人材を育成します

事業費（令和8年度）
560万円



サーフタウン構想プロジェクト

サーファーが「波」と向き合うように。変化を受け入れ、未来を拓く挑戦、御前崎で！

御前崎市独自に描く「サーフタウン構想」は、地域課題の解決につながるような大きな挑戦に取り組み、世界に向けて発信していくものです。次々と変わり続ける波と向き合うサーファーのように予測不能で変化に富む自然環境と向き合い、受け入れ、ともに楽しみ、寄り添って生きる。先の見えないこの世界において、心ゆたかに生きていく、ウェルビーイングな暮らしのヒントが、御前崎市にはあります。その魅力をし、育み、新たな活動を未来に向けて生み出していく。令和7年度は、今後のプロジェクト始動に向けて、本構想の具現化に取り組みます。

事業費（令和8年度）
350万円



学校給食費の無償化事業

企業版ふるさと納税で、御前崎の子どもたちを「食」から応援しませんか。

令和8年度は、市民を対象に、市内の保育園・幼稚園の園児および中学校に通学する子どもたちを対象に、学校給食の完全無償化を実施しています。なお、小学生については、国の抜本的な負担軽減（いわゆる給食無償化）により無償化が行われています。この施策は、子育て世帯の経済的負担を軽減し、市内の人口減少対策としても重要な役割を果たしています。

事業費（令和8年度）
1億5,100万円



MISAKI



御前崎市「だれでも食堂もぐもぐ」

事業費（令和8年度）
35万円

誰も取り残さない地域へ。御前崎『もぐもぐ』で、あたたかい輪を広げよう。

御前崎市版こども食堂「だれでも食堂もぐもぐ」の安定的かつ継続的な運営を支援し、かつ、子どもや市民を行政等による必要な支援に繋げるため、市内で「だれでも食堂もぐもぐ」を運営している団体に対し、予算の範囲内において補助金を交付しております。「だれでも食堂もぐもぐ」が無料又は低料金の食事を提供することで、子どもやその保護者、貧困家庭だけでなく誰もが気兼ねなく訪れ、交流が生まれ、安心して過ごせる地域の居場所として開催されるよう、支援していきます。



基本目標2 まちを整えるプロジェクト

本プロジェクトは、持続可能なまちとして、甚大化する自然災害から守り、日々の生活利便性が向上し、より質の高い暮らしができる「御前崎」を築く事業です。

- 都市構造を再編するリノベーションまちづくり計画の策定
- 市内全域AIオンデマンド交通の導入など、持続可能な地域公共交通ネットワークを構築
- 地域の特性にあわせた防災訓練への参加促進など地域防災力の向上
- 総合病院と地域や近隣市の医療機関の連携（役割分担）と移動（通院）環境の構築 等

AIオンデマンド交通の実証運行

事業費（令和8年度）
5,730万円

AIオンデマンド交通サービス「OM mobi.」で、御前崎市の交通の未来を切り拓く！

御前崎市では、住民の移動のしづらさや観光客の足の確保に向けて、令和7年度からAIオンデマンド交通サービス「OM mobi.（オンモビ）」の実証運行を開始しました。利用者は、電話やスマホアプリで予約すると、AIが最適ルートを算出し、希望場所の近くまで移動できます。令和8年度は、運行エリアを現在の5地区から市内全域へ拡大する予定です。住民ニーズを反映し地域に根付く新たな足をつくる本プロジェクトに、ぜひ企業様のあたたかいご支援をお願いいたします。



ブルーカーボン造成事業

事業費（令和8年度）
100万円

藻場は、海の宝。ブルーカーボン造成事業で、未来へ残す豊かな恵みを。

御前崎市では、特色である海に着目し、「ブルーカーボン造成事業」を実施しています。ブルーカーボンとは、海中に存在している海藻や海草等が二酸化炭素を吸収することで、温室効果ガスの削減に貢献することを指します。しかし、地球温暖化により海水温度も上昇し、藻場が減少している状況となっています。加えて海の生き物の隠れ家が失われたことにより、生態系の変化も進んでいます。本事業では、藻場の保全と再生を図り、ブルーカーボンだけではなく、持続可能な漁業資源の保全と地域発展のため、当市に適した藻場造成に取り組んでいきます。



文化財保護事業『ウミガメ保護活動』

事業費（令和8年度）
165万円

御前崎市とウミガメが織りなす、生命の物語。企業支援で、そのページを増やそう。

アカウミガメは国際的な絶滅危惧種として指定されており、御前崎市は、まとまった頭数のウミガメが産卵するために上陸してくる日本の北限として貴重な場所であり、国の天然記念物として指定を受けています。そのため、市教育委員会として8名をウミガメ保護監視員に委嘱し、ウミガメの上陸・産卵頭数などの調査や、海岸区域の巡視活動、海岸の整備・維持活動を行っています。また小学校では、ウミガメの観察や飼育活動、飼育したウミガメの放流、海岸清掃など環境教育にも力を入れており、ウミガメが産卵に訪れる砂浜を大切に作る活動に取り組んでいます。



公共交通運営事業『地域協働バス支援』

事業費（令和8年度）
115万円

地域住民の「絆」で走る、御社の支援で地域を助ける。

地域協働バスは、路線バスなどの公共交通がほとんどない「公共交通空白地域」と呼ばれる地域に住む高齢者や障がいのある方のために、平成26年から運行しています。このバスは、地域の住民が話し合いの場を作り、ボランティアとして協力しながら運営を行う、市民が力を合わせた活動の代表例です。地域の人のニーズや特徴に合わせて運行しているため、多くの高齢者にとって欠かせない移動手段となっています。地域の暮らしを支えているこの地域協働バスの取り組みに、ぜひご協力をお願いいたします。



基本目標3 しごとを創るプロジェクト

本プロジェクトは、仕事生まれるまちとして、低迷する地域経済に対し、地域特性を活かした活躍の場づくりにより、雇用の場や関係人口・交流人口を拡大し、経済が循環する「御前崎」を築く事業です。

- 起業・創業支援と経営指導の充実によるチャレンジを可能にする仕組みの創出
- 関係人口および交流人口を拡大するワーケーションの仕組と受入れ態勢の構築
- 自然環境の保全及び再生のためのブルーカーボン及びグリーンカーボン創出事業を推進
- 地域・団体による特産品開発や販路拡大との連携による御前崎ブランドの構築と情報発信の強化 等

御前崎市リターン就職応援プロジェクト

事業費（令和8年度）
356万円

一度は出て、また帰りたい場所へ。御前崎リターン就職が描く、新しい働き方。

本プロジェクトを通じて、若者の働く場の確保と企業の安定的な雇用確保を支援することによって、持続可能な地域を目指します。御前崎市の若者と企業の距離を縮め、信頼関係を構築できるよう、専用サイトによる情報発信や企業ガイダンスなど、お互いが交流できる様々な機会を提供します。また、高校卒業後、進学する若者には、御前崎市へ戻り、地元企業へ就職した場合、教育ローンの一部を補助する助成制度も創設し、Uターンと企業の雇用確保につながるよう取り組みます。



御前崎スポーツ振興プロジェクト

事業費（令和8年度）
230万円

スポーツ×地域活性＝御前崎。その方程式に、企業の力をプラスしませんか。

温暖な気候や日本屈指の日照時間等のスポーツに適した環境を生かし、スポーツ合宿等の誘致に取り組むことで、“スポーツのまち御前崎”のブランド化を通じた地域活性化を図ります。配宿や食事等手配による既存産業の活性化、市民のスポーツ事業参画による健康増進等を目指しています。これまでに、サッカー・ゴルフ・マリンスポーツを軸とした誘致活動や栄養士監修によるスポーツ弁当の開発等を実施してきました。今後、新たなスポーツの受け入れやサテライトオフィスの誘致、広域での受け入れ体制の整備等も検討していきます。



特産品PR・認定ブランド事業『御前崎ブランド』

事業費（令和8年度）
271万円

「美味しい」で、地域を元気に。御前崎ブランドで、ふるさとの発展を支える。

御前崎市全体のイメージを高めるとともに産品の普及向上を図り、地域経済の活性化と、市のさらなる発展を目的に、御前崎市の豊かな自然、独自の資源および伝統的な加工技術などを活かした魅力ある産品などを認定し、「御前崎ブランド」として発信しています。これまで御前崎生カツオや遠州夢咲牛、御前崎産アローマメロン、御前崎つゆひかりなどの自慢の逸品がブランドとして認定されています。今後は、ブランド認定品を御前崎市の特産品として市内外に積極的にPRし、地域経済の活性化と市のさらなる発展に繋げていきます。



Company Introduction 過年度の寄附企業の紹介

過年度に50万円以上の寄附をいただいた企業様（企業名・寄附額の公表を承諾いただいた企業）は、本パンフレット内で紹介させていただきます。本市の事業実現にご協力いただき、ありがとうございました。

令和3年度に寄附をいただいた企業

日本発条株式会社 様	神奈川県横浜市	100万円
------------	---------	-------

令和4年度に寄附をいただいた企業

日本発条株式会社 様	神奈川県横浜市	100万円
------------	---------	-------

令和5年度に寄附をいただいた企業

株式会社木村鋳造所 様	静岡県駿東郡清水町	100万円
ナカジマ鋼管株式会社 様	大阪府大阪市	1,000万円
日本発条株式会社 様	神奈川県横浜市	100万円

令和6年度に寄附をいただいた企業

日本ビックス株式会社 様	東京都中央区	300万円
株式会社ウォーターエージェンシー 様	東京都新宿区	100万円
日本発条株式会社 様	神奈川県横浜市	100万円

令和7年度に寄附をいただいた企業

株式会社合同資源 様	千葉県長生郡長生村	100万円
株式会社安藤・間 様	東京都港区	100万円
株式会社ウォーターエージェンシー 様	東京都新宿区	100万円
日本発条株式会社 様	神奈川県横浜市	100万円
MXモバイリング株式会社 様	東京都江東区	70万円



Benefit 寄附で得られるベネフィットの紹介

感謝の印として、御前崎市より寄附額に応じた御礼をさせていただきます。寄附による社会貢献を通して、寄附企業様のイメージアップや認知度向上に繋げていただけますと幸いです。

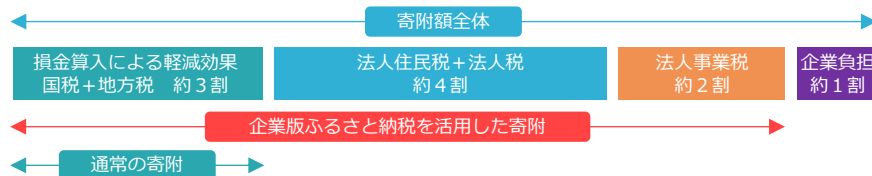
10万円以上	● 市ホームページへ企業名などの掲載 ● 礼状の送付
50万円以上	● プロジェクトのパンフレットへ企業名などの掲載 ● 「10万円以上」と同様
100万円以上	● 感謝状の贈呈(贈呈式の開催) ● 報道機関へのプレスリリース ● 広報紙に贈呈式の様子を掲載 ● 「50万円以上」と同様
300万円以上	● 御前崎市表彰(善行表彰)に推薦 ● 市HPへの企業バナー広告を掲載 ● 「100万円以上」と同様
1,000万円以上	● 紺綬褒章に推薦 ● 「300万円以上」と同様

※ベネフィットはご希望される企業様に対して実施するものであり、必須ではありません。

Summary

企業版ふるさと納税とは

企業の皆様が、御前崎市の地方創生プロジェクトに対して、寄附を行った場合に、法人関係税からの税額の控除を受けられる制度です。



- ・御前崎市外に本社が所在する企業等が対象（※地方税法の「主たる事務所又は事業所」）です。
- ・内閣府からの認定を受けた事業への寄附を行った法人に対する法人住民税等の税額控除の特例措置により、寄附の約9割に相当する額が減額対象となります。
- ・寄附額の下限は10万円です。
- ・個人向けふるさと納税と異なり、寄附に対する返礼品はありません。
※寄附を行うことの代償として、**経済的な利益**を受けることは**禁止**されています。

Flow

御前崎市への寄附の流れ

- 01** 相談
申し出
企業様 企業様のご意向に合わせて、寄附事業を決定します。
まずは、御前崎市企画政策課までご連絡ください。
寄附事業・金額の決定後、寄附申出書をご提出いただきます。
- 02** ご寄附
市 企業様へ寄附金の納付方法をご案内します。
企業様 市からの案内で、寄附金の払い込みをお願いします。
- 03** 税申告
市 企業様へ受領証を発行します。
企業様 受領証の写しを用いて、税務署での税申告のお手続きをお願いします。

